



株式会社 GSユアサ



News Release

2026年1月27日
株式会社 GSユアサ
株式会社 Sustech

GSユアサと Sustech が共同で系統用蓄電所の事業開発を開始
— 2026年度上旬の運転開始を予定 —

株式会社 GSユアサ（代表取締役社長：阿部 貴志、本社：京都府京都市。以下、GSユアサ）と株式会社 Sustech（代表取締役：丹野 裕介、飯田 祐一郎、本社：東京都港区。以下、Sustech）は、両社の共同実証事業として系統用蓄電所の事業開発を進めており、GSユアサ製の定置用リチウムイオン電池設備を用いた系統用蓄電所を滋賀県米原市に設置します。運転開始は2026年9月の予定です。

本共同事業は、国産蓄電池メーカーとして蓄電池市場を牽引するGSユアサと、世界最高水準のAI技術を有する電力運用プラットフォーム「ELIC」を開発・運用するSustechの技術を融合させた取り組みです。両社の強み・ノウハウの共有を通じて、国産技術に立脚した系統用蓄電事業のさらなる発展を目指します。



■本共同事業の背景

GSユアサは、これまで再生可能エネルギーの普及や電力システムの安定化を目的に、産業用蓄電池の導入を推進してきました。今後、蓄電池が電力インフラの安定維持に果たす役割が一層重要となることが見込まれる中、製品開発へのフィードバックと系統用蓄電所事業ノウハウの蓄積を目的に、系統用蓄電事業の

運営に参画します。

Sustech が開発した分散型電力プラットフォーム「ELIC」を通じて、AI による市場予測や最適な充放電制御・市場運用を行い、市場の状況に応じて運用収益の最大化を実現することが可能です。今回の共同事業を通じて、一次調整力に代表される高頻度・長時間運転を実施した場合に蓄電池のセルを始めとした設備に与える影響の検証やそれらを踏まえた充放電制御の最適化など、系統用リチウムイオン蓄電所の長期的な運用を見据えて、性能を最大化する運用を開始します。両社は引き続き連携を強化し、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大と電力インフラの柔軟性・安定性向上に貢献してまいります。

■重要性が増す系統用蓄電所

2025 年 2 月に閣議決定された第 7 次エネルギー基本計画においても、2040 年に向けて、国内の再生可能エネルギー比率をより高めていくことが発表されました。再生可能エネルギーは発電量が天候や時間に応じて変動し、電力需要が少ない場合には再生可能エネルギーの出力抑制が発生するという課題があります。これらの課題を解決するため、電力の余剰が見込まれるときに充電し、需給ひっ迫が発生するときは放電を行う、調整力を担う系統用蓄電所が注目されています。

■本蓄電池設備のシステム概要

電池の種類	リチウムイオン電池 LEPS-2-14
出力	1.3MW
容量	4.2MWh
寸法 (1 コンテナ)	W 2,300×L 9,400×H 2,800mm
コンテナ数	2 コンテナ

■GSユアサ製リチウムイオン蓄電池設備の特徴

1. 全セルの電圧監視、全モジュールの温度管理機能を搭載し、高い安全性を確保
2. ファンレスモジュール構造により故障率低減、交換部品点数の大幅な削減を実現
3. 消防危第 200 号通知による消防危第 303 号の耐火性収納箱の試験に合格
4. 重塩害地域、寒冷地にも対応可能なコンテナシステム

■電力運用プラットフォーム「ELIC」の特徴

Sustech が開発する「ELIC」は、再生可能エネルギーの普及拡大に伴う課題を克服するために開発された次世代のエネルギーマネジメントシステムです。AI を活用した分散型電源の管理・運用、発電量や電力需要量の的確な予測、蓄電池の最適制御、グリッド負荷の軽減、環境価値の市場取引などを含む最先端技術により構成されています。「ELIC」は、再生可能エネルギー活用の性能を向上させ、「ゼロ停電」シナリオを実現します。

■両社 会社概要

社名	株式会社 GSユアサ
代表取締役 取締役社長	阿部 貴志
住所	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
設立	2004年6月1日
資本金	100億円
WEB サイト	https://www.gs-yuasa.com/jp/

社名	株式会社 Sustech
代表取締役	丹野 裕介・飯田 祐一郎
住所	東京都港区芝3丁目1-14 芝公園阪神ビル5階
設立	2021年6月
資本金	37.1億円（資本準備金含む）
WEB サイト	https://sustech-inc.co.jp/



株式会社 GSユアサ

News Release

2026年3月25日

株式会社 GSユアサ

株式会社ブルーエナジー

**GSユアサが新型車載用リチウムイオン電池を開発
～トヨタ自動車 新型 RAV4 に採用～**

株式会社 GSユアサ（社長：阿部 貴志、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）が新たに開発した車載用リチウムイオン電池「EHW4GA」が、トヨタ自動車株式会社の新型 RAV4 の海外向けハイブリッド仕様車に採用されました。

「EHW4GA」のセル・モジュールは、GSユアサグループの株式会社ブルーエナジー（社長：中村 純、本社：京都府福知山市。以下、ブルーエナジー）が生産しています。セルは従来のブルーエナジー量産製品と同等の寸法、質量ながら、10%以上の高エネルギー化を達成しました。また、優れた低抵抗化技術を開発したことで、ハイブリッドシステムに求められる入出力特性も10%以上向上し、総合的な電池特性を最適化しました。加えて、モジュールはダイカストケースを新規採用したことで、部品点数削減や軽量化を達成しました。

GSユアサは2009年にハイブリッド車用の高性能リチウムイオン電池の開発・製造・販売を行う合弁会社としてブルーエナジーを設立し、これまでにハイブリッド車400万台分以上の電池を安定的に供給しています。これらの豊富な実績と高度な技術力で、環境対応車の普及拡大に貢献してまいります。

【EHW4GA セルの仕様】（定格値）

モデル名	EHW4GA
容量	4.4 Ah
電圧	3.7 V
寸法	W120.0×D12.5×H65.0 mm
質量	0.19 kg
使用温度範囲	-39℃ ～ 60℃
保存温度範囲	-39℃ ～ 65℃
最大使用電流	300 A

【写真】

1. RAV4



2. EHW4GA セルとモジュール

